

水の国、わかやま。

キャンペーン期間
平成30年3月31日まで

「水」という意外性のあるテーマで観光地をPRする、「水の国、わかやま。」キャンペーンを展開しています。古くから「木の国」と呼ばれてきた和歌山県は、豊かな森林に恵まれ、その豊かな森林に育まれた清らかな「水」に恵まれています。県内各地には、たくさんの清流・滝、温泉、食、体験アクティビティなど水に関連する観光資源が存在します。キャンペーンでは、世界遺産などの認知度の高い観光資源と合わせて紹介し、水にまつわる資源や文化の魅力を発信しています。

←ガイドブック
京阪神の主要なサービスエリアや近畿の道の駅、
県内市町村の観光案内所などに配置



水の国、わかやま。



水にまつわる観光資源

水を見る 次の滝(有田川町)



水に寄り添う

醸造酢・丸正酢醸造元(那智勝浦町)



水を育む

熊野古道トレッキング(田辺市)



聖なる水

玉川(高野町)



水が創る

川湯温泉
仙人風呂(田辺市)
(時期12~2月)



水を活かす

日本酒製造・吉村秀雄商店
(岩出市)



水と遊ぶ

栖原海岸シーカヤック(湯浅町)

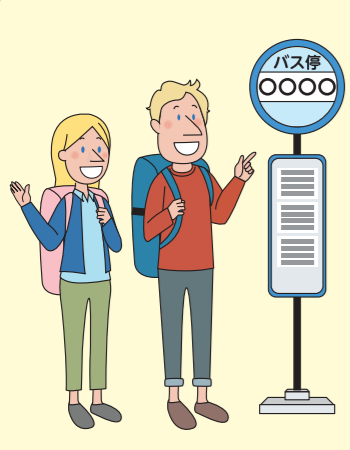


ますます増える外国人観光客 おもてなし力を向上する

国内外へのPRとともに、誘客戦略で重要となるのが受入体制の整備です。県では、平成25年度から実施してきた和歌山おもてなしトイレの整備をはじめ、観光地における案内表示の多言語化と観光地英語名称の統一など様々な受入環境整備を進めてきました。今後も観光客の方々に快適な旅を楽しんでもらい、また来ていただけるように、県民の皆さん温かいおもてなしに加え、さらなる受入環境の充実を図ります。

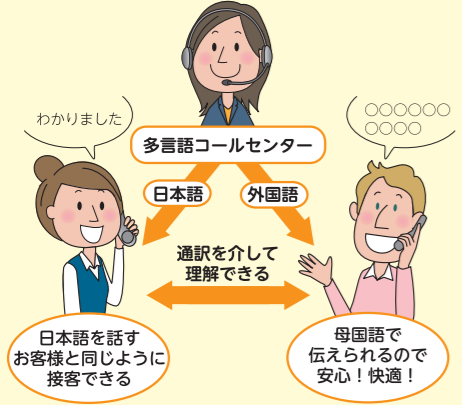
移動環境の改善と情報発信

熊野古道などを訪れる外国人観光客がよりスムーズに観光地を巡れるように、今年5月19日、県と路線バスなどの交通事業者で組織する「熊野外国人観光客交通対策推進協議会」を設立しました。協議会では、駅、空港と観光地を結ぶ路線バスなどの利便性向上や、主要駅やバス停などでのエリア共通のわかりやすい案内誘導表示を考案するとともに、それをいかした観光ルートを発信していきます。



多言語電話通訳・簡易翻訳サービス

外国人観光客が旅先で困る言葉の壁を取り除き、県内を円滑・快適に周遊できるように、外国人観光客の受け入れに取り組み県内事業者を対象に、多言語の電話通訳・簡易翻訳サービスを実施しています。今年度からは、このサービスを県内すべての市町村消防本部で導入しており、「119番通報」でも多言語対応が可能となっています。



和歌山県版通訳ガイド

外国人観光客が地域の魅力を正しく理解して旅ができるように、全国に先駆けた地域限定の通訳ガイド「高野・熊野特区通訳案内士制度」を設けています。5年間で146人の通訳ガイドが誕生し、各地で活躍しています。近年、和歌山県を訪れる外国人観光客が増え、特に世界遺産地域には多様な国から観光客が訪れていることから、今年度より従来の英語に加え、フランス語、スペイン語、中国語の3言語のガイド育成を始めています。地域に密着した質の高いガイドを育成し、さらなる誘客を図ります。



和歌山おもてなしトイレ大作戦

公衆トイレは、観光地の印象を左右する大きな要素です。県がおもてなしの原点として、紀の国わかやま国体大会などを契機に整備してきたトイレ大作戦では、661カ所(平成29年3月末)が綺麗になりました。引き続き整備に取り組み、市町村などと協働してトイレの維持管理を行っていきます。県民の皆さんも清掃や美化活動にご協力をお願いします。



電話通訳(10言語)

- 月60件利用可能 ※1件あたり5分
- 全日24時間対応
英語、中国語(北京語)、韓国語、スペイン語、ポルトガル語
- 全日10:00~18:00対応
中国語(広東語)、フランス語、タイ語、ベトナム語
- 平日10:00~18:00対応 ロシア語

簡易翻訳(10言語)

- 月20件利用可能
- ※1件あたり1言語、200文字または100ワード
- 3営業日に対応 言語は電話通訳サービスと同言語

利用可能者: 宿泊施設、免税店、観光施設 および観光案内所などの県内観光関係事業者

負担金: 1登録者あたり年間2,000円
申込受付: 平成30年2月28日まで
申込先: 県庁観光交流課